

2025年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告

収支決算書

庶務報告

2025年度をかえりみて

2025年度理事長

野上 新一朗

考えてもいなかった理事長職。

みなさまに支えられて乗り越えることができました。

そんな皆様にはとても感謝申し上げます。

自分自身のスキルアップにもなりました。

1番「成長」したのはワタシかもしれません、、、

最高の仲間によって改めて感謝しワタシのかえりみてと致します。

本当にありがとうございました。

資質交流委員会

副理事長 川浪 剛功

今年度は資質向上と会員交流という2つの目的がある委員会の担当副会長として務めさせていただきました。はじめは不安でしかなかったというのが本音でしたが、3月の定例会に向け委員長の先導のもと委員会メンバーが積極的に発言をし、会場の選定から、学びを深めつつ、懇親会ではカジノゲームをやるという事業構築、本番までの準備当日の運営など楽しく活動をできていました。当日も非常に多くの会員に参加をいただき、学びもあり、楽しむという委員長の方針を体現できた事業であったと思います。

5月から練習会が始まった3年目になる親子 de 立佞武多、囃子事業に関しては礎会の協力のもと練習会の開催と本番に向けた準備、説明会など多忙な日々になったと思います。

11月定例会の新入会員との事業構築に関しては委員長の人望が前面に出た事業であり、多くの会議の日程にもかかわらず毎回多くのメンバーに参加をいただきより良い事業構築をできたのではと思います。

今年度当委員会はすべての定例会・事業において新しく、楽しいことを追求してきた委員会だと思います。それを議案という形にしてきた木村委員長をはじめ、委員会メンバー、新入会員の皆様には感謝の気持ちしかありません。堅苦しく融通があまり効かない副理事長の元であると面倒なこともあったとは思いますが、ありがとうございました。次年度以降も積極的に委員会や定例会、事業に参加し、楽しい成長できる青年会議所生活を送ってほしいことを願い、かえりみてとさせていただきます。

まつり委員会

副理事長 高橋 溪太

本年度まつり委員会として、地域の子供達と行った御田植祭に始まり、第53回奥津軽虫と火まつりでは地域の弥栄を願い、抜穂祭では、地域の方々と秋の実りを分かち合えました。この一年は、実行委員長として、まつりの起源とも言える「五穀豊穰」に焦点を当て、自然と人との結びつきを改めて実感する事を意識し、事業構築をしました。また、島谷委員長の下、行われた親善大使活動においても、元気溢れる高校生が地域の小学校を周り活動を通じて、伝統を守りながら新しい世代へと橋をかけることができたと感じています。

私の“わがままボディ”だけではなく、全会員を振り回し、いろいろチャレンジさせていただきましたこの一年間の経験を今後の活動に生かしていきたいと思っています。

委員会のメンバーはもちろんの事、全会員のご協力、まつりに携わっていただいた全ての人に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2025年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

総務事務局

【構成メンバー】

事務局長：工藤 智哉

財務局長：山田 瀧仙

事務局次長：太田 竜昂

財務局次長：澤田 佳純

副委員長：山田 貴之

委員：飛鳥 瑞姫

【基本方針】

JCI 五所川原は私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を目的とし、昭和39年設立から様々な事業を展開して参りました。先輩諸兄姉より受け継がれてきた創始の精神を絶やすことなく次の世代へと受け渡さなければなりません。公益社団法人としての自覚を持ち法令を遵守し公益性が伴う青年会議所運動を展開し、この地域から更なる信頼と期待を頂けるよう規律ある組織の構築、その運動に対しての情報発信と活動報告を速やかに発信していかなければなりません。

その為に、総務事務局では執行部や各委員会との連携を図り、SNSを活用し青年会議所運動を発信し地域への認知、浸透を図ります。公益法人制度に則り信任ある組織運営を確立し、「新年祝賀会」をはじめ2月、9月の通常総会や各種定例会を円滑に執り行うことで強靱な組織体制を築いて参ります。先輩諸兄姉とのコミュニケーションや青年会議所運動への理解を得られるよう「OB交流会」を実施し、先輩諸兄姉との連携をより深めて参ります。

公益社団法人としての自覚を持ち、信任ある組織運営の確立を図りながら当会の積極的な運動展開を支え、柔軟さと規律ある強靱な組織へと「成長」することで、この地域のトップランナーとなり「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

【事業報告】

○ 1月新年式典「公益社団五所川原青年所 2025 年度新年祝賀会」

開催日：2025 年 1 月 11 日（土）18:00～20:22

開催場所：プラザマリユウ五所川原

参加員数：対内）21 名、対外）91 名

事業内容：「公益社団法人五所川原青年会議所 2025 年度新年祝賀会」実施

○ 2月通常総会「公益社団法人五所川原青年会議所 2 月通常総会」

開催日：2025 年 2 月 26 日（水）19:00～19:45

開催場所：五所川原学習情報センター

参加員数：対内）19 名、対外）なし

事業内容：「公益社団法人五所川原青年会議所 2 月通常総会」開催

○ 4 月定例会「OB 交流会」

開催日：2025 年 4 月 19 日（土）18:00～21:00

開催場所：ひら埜

参加員数：対内）21 名、対外）20 名 オブザーブ 4 名

事業内容：「4 月定例会 OB 交流会」開催

○ 7 月定例会「7 月定例会役員選考委員会委員選挙」

開催日：2025 年 7 月 16 日（水）18:00～：20:30

開催場所：五所川原学習情報センター

参加員数：対内）28 名、対外）なし

事業内容：「7 月定例会役員選考委員会委員選挙」実施

○ 9 月通常総会「公益社団法人五所川原青年会議所 9 月通常総会」

開催日：2025 年 9 月 16 日（火）18:00～21:00

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：対内）33 名、対外）なし

事業内容：「公益社団法人五所川原青年会議所 9 月通常総会」開催

○ 12 月定例会「「公益社団法人五所川原青年会議所 12 月定例会並びに LOM 内褒賞」

開催日：2025 年 12 月 14 日（日）13:00～14:30

開催場所：妙法寺

参加員数：対内）27 名、対外）なし

事業内容：「公益社団法人五所川原青年会議所 1 2 月定例会並びに LOM 内褒賞」実施

【かえりみて】

2025年はおそらく前例の無い年になりました。

本来ならば事務局・財務局・総務委員会で構成するところですが、これらをひっくるめた集まりとなり、受持ちの事業数は6事業となり、毎月上程を繰り返す大変な委員会となりました。財務局長や両次長が議案を作成するなど、例年以上に『成長』の機会が散りばめられた1年となりました。

委員会活動も大変活発で、ランチミーティングも含むと、全63回の集まりとなりました。委員会メンバーには大変助けられ、新年祝賀会ではプロのような司会、4月OB交流会では太田次長が担当し、こんなに楽しい交流会は出たことが無い、近年稀に見る交流会だったなど、大変嬉しい感想を参加された先輩方から頂戴したのも良い思い出です。

今年の総務事務局活動の総括として挑んだ12月定例会は、野上理事長の生まれ育った愛着豊かな地、中泊は妙法寺にて行いました。お寺の境内での開催はおそらく初めてだと思いますが、趣のある大変魅力的な会場にて行った定例会になりました。

担当した山田財務局長は本当に頑張っていました。総務委員会は決して華やかな事業を行う委員会ではありませんが、楽しくする工夫やアイデアをメンバーで出し合い楽しく委員会活動を行うことが出来ました。何より、新年祝賀会をはじめとする各事業にご参加くださいました全メンバーに心より感謝申し上げます。

#総務事務局#2025年度五所川原青年会議所#成長 ww



2025年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

青少年委員会

【構成メンバー】

副理事長：野上 新一朗

委員長：貴田 祐吾

副委員長：今 孝夫

委員：江良 寿昭、葛西 喬、川浪 永、清野 晋太郎、中村 武蔵、成田 佳誠
村田 直哉、野呂 大地

【基本方針】

今の時代、近所の、地域の人の顔を知っている子ども達はいるでしょうか。子ども達を遠くで、近くで見守る大人たちはいるでしょうか。時代の変化に伴い、子供たちは地域での活動の機会や人とのつながりの機会が減少してきております。このままではこの地域の「青少年の健全な育成」の想いを次世代へと引き継ぐことが困難になってきます。子供たちが地域と人と交流をし、想いを培っていく必要があります。

まずは、我々会員が青少年を取り巻く環境や課題について認知、考察できるよう「青少年キックオフ事業」を行い、青少年へのかかわり方の根本的な意識付けをします。そのうえで、「じょっぱりロード 2025」及び参加学生対象の「ボランティア研修会」を開催し、西北五地域の自然の中で青少年が成長できる徒歩修行となるように会員一丸となって取り組みます。学生ボランティア及び参加者が、普段とは違う立場や環境の中で、新たな価値観や友情を育み、達成感を分かち合う機会とします。

仲間と過ごし得た経験は、この先の人生においてかけがえのないものとなり、困難に直面した際には一助となることを願っております。加えて、地域の「青少年の健全な育成」に興味を持ち、自発的に参画できる人材になるよう、取り組んで参ります。

【事業報告】

○ 5月定例会 「じょっぱりロード2025 キックオフ」

開催日：2025年05月27日（火）19：00～21：00

開催場所：五所川原市民学習情報センター 2階 視聴覚室

参加員数：対内）26名（監事、講師含む）

事業内容：じょっぱりロード初代団長による「誕生秘話」から学ぶ持続可能な青少年育成についての講演と、8月定例会の概要説明の2部構成にて行った。

○ 8月通常総会「じょっぱりロード2025 ～OMOIYARIの旅～」

開催日：2025年07月25日（金）～27日（日）

開催場所：五所川原市内、つがる市内、中泊町内

参加員数：（対内）34名（対外）小学生21名、学生サポーター15名

事業内容：青少年の健全な育成を願い、2泊3日の徒歩修行（約65km）の旅を開催した。

○ 卒業式及び大望年会の開催

開催日：2025年12月14日（日）15：00～19：00

開催場所：妙法寺（中泊町）

参加員数：（対内）27名、（対外）なし

事業内容：五所川原青年会議所に貢献していただいた卒業生を見送り、次年度へと繋げる卒業式および大望年会を開催した。

【かえりみて】

「じょっぱりロードをやってほしい」とお願いをされたものの、正直初委員長で務まるのか、もっといろんなことを経験したうえでやったほうがいいのでは、そんな不安を抱えながらも、皆さんのお力添えをいただき何とか走り抜けた1年でした。

8月定例会に全力を注ぎたいという思いで、5月定例会は関連する、小嶋先輩の講演を設えました。じょっぱりロードの誕生秘話から、次世代へとつないでいく青少年育成について大変貴重な学びを共有できたと思います。そのおかげもあり8月定例会では会員がそれぞれ役割を果たしてくれ、たくさんの支えがあり無事に全員でゴールできたことは感謝しかありません。

2泊3日、終わってしまえばあっという間でしたが、その中でも小学生、サポーターの高校生の成長は目覚ましいものでした。自分の力不足で、目が行き届かなかったところや、もっともっと成長につながられたところもありましたが、しっかりと反省をし今後につなげられるようにしていきたいです。

12月の卒業式、大望年会ではその経験を生かしてやれたこともあれば、できなかったこともありました。当会ではよく失敗しても大丈夫と言われるますが、その失敗を次へと生かすことができ、それが成長の機会となること。また、決して一人ではなしえることができなかったということを痛感し、仲間と協力して行うことでより良いものが生まれるということ。体感してこそ学べたことは大きかったなと感じます。

改めて、今年1年は支えられっぱなしの1年でしたとともに、委員会、部会長をはじめとする会員の皆様のおかげをもちまして、無事今年のじょっぱりロードも完歩できたことをここに宣言します。ありがとうございました。



2025年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

まつり委員会

【構成メンバー】

副理事長：高橋 溪太

委員長：島谷 昌孝

副委員長：竹内 大介

委員：平山 智久、棟方 大輝、古川 竜太、成田 健斗、川浪 史順、赤石 悠、
新山 愛佳

【基本方針】

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」この祈りを込めて、幾多の時代を越え津軽の地に深く根付き、先人たちの思いが脈々と継がれた「奥津軽虫と火まつり」。この火は、五所川原の先達が灯し続けた魂の遺産であり、私たちが守り手として引き継ぐべき地域の宝です。しかし、物価高騰、人口減少による後継者不足といった難局が押し寄せ、まつりを継承する事がかつてない重要な課題となっています。地域の弥栄を願う伝統文化を守り抜き、その燈火をより多くの若者に伝えていくことにあります。

「親善大使事業」を通して、地域の高校や大学と連携し「親善大使」を認定し、小学生を対象に出前授業でまつりの意義を伝え、参加の機会を設けることでまつりの本質を体感させます。そして秋には「五穀豊穰の喜びを伝播する事業」を実施し、津軽の大地がもたらす恵みに触れてもらう場を提供します。こうした活動を通じて、若い世代が津軽の誇りとともにこの「祭」を次代へと継承し、地域に根ざした伝統が未来へと渡ることを目指します。

津軽の誇りと、先人たちが紡いできた不撓不屈の精神を携え、私たちは「奥津軽虫と火まつり」の燈火を未来へと渡します。地域のルーツを伝えることでJCI 五所川原の一員として、地元と共に歩み、更なる絆と郷土愛の醸成に繋がると確信し、この「祭」を未来へ託すべく邁進してまいります。

【事業報告】

○ 五所川原高等学校「探究基礎講座」

開催日：2025年04月24日（木）14：20～15：50

開催場所：五所川原高校体育館

参加員数：対内) 4名、対外) 148名（1学年）

事業内容：「まつりを通じた、地域課題と今後について」開催

○ 奥津軽虫と火まつり親善大使説明会

開催日：2025年05月01日（木）17：00～18：00、05月17日（土）
14：00～15：00

開催場所：株式会社 ミワ電工 営業本部会議室、児童養護施設 幸樹園

参加員数：対内）5名、対外）11名（木造高校、工科高校、五所川原農林、下山学園）、
対内）1名、対外）2名

事業内容：親善大使を対象にこれまでのまつりと、今年の活動について説明会を開催

○ 奥津軽虫と火まつり親善大使事業

開催日：2025年05月13日（火）～06月21日（土）

開催場所：五所川原市内各所

参加員数：対内）17名（合計）、対外）小学生296名、高校生39名（親善大使：サポ
ーターズクラブ登録21名、五所川原高校16名、幸樹園2名）

事業内容：市内小学校8校・1園で、虫送りの歴史説明や紙芝居、虫送りクイズ、願い紙
の作成を実施したほか、神明宮にて松明制作を行い、PR活動としてラジオ出演
および市長表敬訪問を行いました

◇出前授業

5月13日	五所川原小学校	対象）3年60名	大使）木高5名
	松島小学校	対象）4年15名	大使）工科6名、五農1名
5月15日	中央小学校	対象）3年54名	大使）木高3名、下山学園2名
5月16日	いずみ小学校	対象）4年27名	大使）木高6名
5月21日	金木小学校	対象）3年27名	大使）木高6名
	栄小学校	対象）3年58名	大使）下山学園：5名
5月22日	東峰小学校	対象）3年10名	大使）五高7名
5月30日	南小学校	対象）4年31名	大使）五高：6名
6月07日	幸樹園	対象）小学生12名	大使）幸樹園2名

◇PR活動

6月09日～13日 ラジオ出演（工科、下山、五高、3校各1回）

6月13日 市長表敬訪問 11名（五高、工科、木高、五農、下山学園）

○ 奥津軽虫と火まつり～御田植際～

開催日：2025年05月18日（日）8：00～11：30

開催場所：川浪茂様所有田んぼ

参加員数：対内）15名、対外）小学生 19名、幸樹園 8名、親善大使 9名

事業内容：田植え体験を通して、地域の文化的な伝統とまつりへの理解を深める事業の開
催

○ 6月公開定例会「第53回奥津軽虫と火まつり」

開催日：2025年06月21日（土）

開催場所：岩木川河川敷

参加員数：対内）30名、対外）小学生：約300名、親善大使：22名

事業内容：第53回奥津軽虫と火まつりの実施

○ 奥津軽虫と火まつり～抜穂祭～

開催日：2025年11月02日（日）14：00～20：00

開催場所：五所川原神明宮

参加員数：対内）26名、対外）親善大使3名

事業内容：五穀豊穰の祈りを込め、春に植えた稲の実りに感謝し本年の豊作を祝う祭りとして、囃子や獅子舞の演舞披露、キッチンカー等の飲食出店を行った

【かえりみて】

本事業をはじめ、本年度の活動を大きな事故や混乱もなく終えることができたのは、関係してくださった多くの皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力に支えられ、この一年を無事に乗り切ることができました。

神明宮での活動の際には、宮司より「ご自身が幼い頃、40年以上前には、青年会議所の先輩方がこの神明宮の境内で虫送りの虫を製作していた」というお話を伺いました。その言葉から、時代は移り変わっても、この祭りが多くの先人の想いと努力によって絶えることなく受け継がれてきたこと、そして青年会議所が長年にわたりその一端を担ってきた意義の大きさを、改めて実感しました。

また、市内の小学校を巡る出前授業や紙芝居の活動では、ムッシーくんという親しみやすい存在を通して、虫送りや五所川原の街の歴史・文化を子どもたちに伝えることができたと感じています。子どもたちが興味を持ち、楽しみながら耳を傾けてくれた姿は、本事業の大きな成果の一つでした。

私たちが今行っている事業も、決して私たちの代から新たに始まったものではなく、先輩方が築いてきた歴史の延長線上にあります。その重みを胸に刻みながら、次の世代へとバトンを渡していくことが、私たち現役会員の責任であると強く感じました。

本事業を通じて得られた学びと気づきを今後の活動に活かし、地域の誇る「奥津軽虫と火まつり」が、これからも子どもたちの心に残り、末永く受け継がれていくよう、引き続き尽力してまいります。



2025年度 公益社団法人 五所川原青年会議所

事業報告書

資質交流委員会

【構成メンバー】

副理事長：川浪 剛功

委員長：木村 重太

副委員長：吉田 富士雄

委員：阿部 真史、葛西 翔悟、工藤 佑真、伝法谷 匡、中元 郁美、平山 厚生、宮本 龍聖

【基本方針】

当会は同じ地域に住まう様々な青年経済人が集まり、定例会や事業を通して多くの経験をし、沢山の方と関わってきた事で「成長」してまいりました。しかし様々な要因により会員数特に在籍期間の長い会員が減少の一途をたどっています。それにより受け継がれてきた文化や組織力が低下する懸念があります。また受け継いでいくべき地域文化である五所川原立佞武多は参加するための窓口が分かりにくいといった現状がありました。その為、会員に JCI 活動を理解してもらう機会を提供し、更に定例会や事業に参加したくなるような取り組みを行っていきます。また、他 LOM と交流を図りながら JCI 五所川原の良さを再確認できる事業を行い更に LOM 内の結束力を高めていきます。そして新入会員が企画立案を行った事業を LOM 内で振り返りながら役職の壁を超えた関係を構築していきます。また「親子 de 立佞武多」「親子 de 囃子」事業を開催する中で多くの方と立佞武多の運行を行い、文化を伝承していきます。当委員会の活動に多く参加することで JCI 五所川原としての理解が深まり資質向上が見られ、更に地域に根付いた立佞武多という文化に触れることで文化を継承し、会員一人一人が地域社会により良い変化をもたらすことができる人財へと「成長」してくれることを確信しています。

【事業報告】

○ 3月定例会 「ゴショの中心で、良さを叫ぶ～議案を閉じて～」

開催日：2025年03月26日（水）18：00～22：00

開催場所：LOVE POTION 2

参加員数：今年度23名、特別会員4名 27名

事業内容：「会員資質向上に関する事業」開催

○ 3LOM 合同事業「3LOM 交流会」

○ 3LOM 合同事業「3LOM 交流会」

開催日：2025年05月10日（木）16：00～20：00

開催場所：松の湯交流館

参加員数：五所川原 JC・黒石 JC・弘前 JC

事業内容：「3LOM 交流会」

○ 「親子 de 立佞武多 2025」「親子 de 囃子 2025」

開催日：2025年08月04日（火）18：00～20：30

開催場所：五所川原市立佞武多運行ルート

参加員数：対内）36名、対外）868名

事業内容：地域に根付いた五所川立佞武多をこども達に参加してもらい次世代に伝統を繋いでもらう事業。（親子 de 立佞武多 2025）立佞武多に参加するだけでなく囃子という文化を実際に行いながら立佞武多の楽しさを知ってもらう事業。（親子 de 囃子 2025）

○ 11月定例会「JCI 感謝祭 2025～貴方は新入会員をどこまで知っている？～」

開催日：2025年11月25日（火）19：00～20：30

開催場所：FOREST BLUE

参加員数：今年度30名 特別会員4名 34名

事業内容：「新入会員が主体的に関わる交流事業」

【かえりみて】

五所川原 JC に入会して3年目にして初めて委員長に任命していただき資質交流委員会の委員長を仰せつかりました。初めての委員長ということもあり就任当初は理事会等でも右往左往してしまい委員長の責務を全うするどころか副理事長に言われるがまま流されていた印象です。しかし委員長の慌てぶりとは裏腹に委員会の組閣は副委員長を始め自分が理想とする会員で組閣することができ、さらに新入会員が3名も追加加入していただき年の途中からではありましたが委員会活動に大きく貢献してくださり1年通して委員会メンバーに恵まれることができました。

そんな中初めての資質交流委員会主催の定例会を3月に行いました。会員同士の交流を図りつつ会の質を上げるという構築が難しい内容でした。また、自分自身にとっても初めての定例会であり議案の作成、定例会の準備等終始混乱していました。しかし毎回委員会には多くの会員が参加していただき自分達のやりたいことをアットホームな環境下で楽しく議論することができました。そこに副理事長の指導が入り無事形にすることができました。嬉しい事に当時の定例会出席率1番を記録することができ資質交流委員会の色もだしつつオンオフがしっかりした定例会を作り上げることができました。その勢いのまま、新たに3名の新入会員を加え11月の定例会も企画立案運営を行いました。11月の定例会では我々資質交流委員会だけではなく入会から2年以内の新入会員も一緒になり定例会の企画立案運営を行いました。そこでも毎回多くの委員会メンバーそして新入会員が会議に参加していただきました。最初の会議では意見交換が行われずなかなか方向性も見えてこなかったのですが資質交流委員会のメンバーが会議の手綱を握りアットホームな雰囲気

を作りあげ、最後にはしっかりと形にしていくことができました。経験の少なさを会議の多さと意見交換の量でカバーすることで今までにない形でクオリティーの高い定例会を築くことができました。会員にその熱が伝わったのか、年間で一番多くの会員に参加していただきました。3月11月ともに経験不足が垣間見えたものになった部分はあったと思います。しかし、委員会の「楽しんで取り組む」という姿勢が多くの人に伝わった1年になったと感じております。

個人的には8月に実施した「親子 de 立佞武多、親子 de 囃子」事業が印象に残っております。定例会とは違い五所川原 JC 全体、そして地域の各所団体を巻き込んで行う初めての事業であり、もがき苦しみました。準備を進めれば進めるほど新たな課題や問題が出てきて当時の記憶がほとんどありません。途中何度も逃げだしてしまおうかと思いましたが、お祭りの魅力に取りつかれ必死の思いで準備を進めていきました。また、委員長に就任してからどうしても立佞武多に地域の高校生を参加させるという目標を実現すべく奔走いたしました。多くの課題や問題点はありましたが副理事長の献身的なサポートもあり実現することができ心の底から心を震わせることができました。最後まで自分についてサポートして下さった副理事長には感謝してもしきれないです。また、副理事長だけではなく委員会の垣根を越えて多くの方がサポートをしてくださいました。本事業を通して苦労は回り知れませんが人とつながりの大切さを身にもってしることができ何物にも代えられない経験ができたことが今後の JC 活動、更には仕事において財産になったと考えます。

思い起こすと自分の手際の悪さ、容量の少なさを突き付けられ無力さを露見し身に染み込んだ1年であったと思います。しかし、1人では何もできませんでしたが、多くの人に支えられ背中を押していただいたことで走り切ることができました。副理事長をはじめ自分を支えてくださった方々には感謝しかございません。フロアメンバーから1歩前に出たこの1年間は自分が想像するよりも前途多難で自信をへし折られたことになりましたが自分を知る良いきっかけとなりました。この1年で感じたことというのは後にも先にもこの1年でしか味わえなかったものであった。と将来の自分が言えるよう自分自身「成長」していけたらこの1年がより素晴らしいものだったといえると思うので邁進していきたい所存です。

